

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00652 熊谷市スポーツ協会補助事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する			
施策	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する			
施策達成課題	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する			
基本事務事業	002	熊谷市スポーツ協会補助事業			
詳細事務事業	001	熊谷市スポーツ協会補助事業			

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	スポーツ協会の会計は適切に処理されており、市民へのスポーツの普及はもとより、加盟競技団体の振興にも寄与している。

【事業分析】

対象	公益財団法人熊谷市スポーツ協会
目的	本市のスポーツを振興する。
手段	公益財団法人熊谷市スポーツ協会に対し、補助金を交付する。
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,623	5,628	5,000	5,000	0	0	0
事業費	5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	0
人件費計	623	628	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-06-01-00-00	熊谷市スポーツ協会補助事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00652 熊谷市スポーツ協会補助事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
スポーツ協会の加盟団体数	団体	28.00	28.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
スポーツ協会の加盟者数	人	128,000.00	128,000.00	128,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10,489.00	10,690.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
			5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	本市のスポーツ振興のため、継続して実施する必要がある。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01085 スポーツ推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち	
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する	
施策	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する	
施策達成課題	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する	
基本事務事業	003	スポーツ推進事業	
詳細事務事業	001	スポーツ推進事業	

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 スポーツ基本法、熊谷市スポーツ推進委員に関する規則、スポーツ推進計画
 事業内容を精査し、経費削減に努めた。

課題・分析

【事業分析】

対象	市民
目的	大会の開催やスポーツ団体への支援を通して、スポーツの推進及び市民へのスポーツの普及を図る。
手段	スポーツ推進審議会の運営、スポーツ推進委員の活動支援、市総合スポーツ大会、スポーツ教室の開催委託、スポーツレクリエーション団体及び大会への補助、全国大会等に係る補助。各種スポーツ大会の実施、野外活動事業、体力測定等の実施、スポーツレクリエーション指導者バンクの活用。
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	28,320	31,580	9,182	10,300	0	0	0
事業費	5,474	8,601	9,182	10,300	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,474	8,601	9,182	10,300	0	0	0
人件費計	22,846	22,979	0	0	0	0	0
一般職員(人)	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-03-01-00-00	スポーツ推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01085 スポーツ推進事業

【定量評価】

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
スポーツ教室種目数	種目	18.00	18.00	18.00	18.00	0.00	0.00	0.00
		17.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
スポーツ教室参加者数	人	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	0.00	0.00	0.00
		1,837.00	2,169.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
卓球親善大会の実施回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
卓球親善大会参加者数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	104.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01384 口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する		
施策	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する		
施策達成課題	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する		
基本事務事業	004	口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業		
詳細事務事業	001	口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		

根拠法令等 熊谷市市民の歯と口の健康づくりを推進する条例、熊谷市口腔外傷防止用具補助事業実施要綱
 制度の普及のためのPRを行う。

課題・分析

【事業分析】

対象	口腔外傷防止用具（マウスガード）を製作した市内在住・在学する学生。
目的	歯と口の健康づくりを通して、地域住民のスポーツによる健康づくりを支援し、健康寿命の延伸、健康で質の高い生活の維持向上を図る。
手段	口腔外傷防止用具（マウスガード）の作製に対し補助を行う。
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	980	965	1,000	1,000	0	0	0
事業費	583	565	1,000	1,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	583	565	1,000	1,000	0	0	0
人件費計	397	400	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-29-01-00-00	口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01384 口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
マウスガード補助対象者	人	300.00 132.00	300.00 130.00	300.00 0.00	300.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			4	
2 事中評価	事業の必要性	5		市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである
		4		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである
		3		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである
		2		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			4	
3 事中評価	事業主体の妥当性	5		他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし
		4		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ
		3		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している
		2		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			5	
4 事中評価	事業の対象者	5		直接の対象は、すべての市民又は団体である
		4		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体
		3		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である
		2		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			4	
5 事中評価	市民ニーズの把握	5		事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している
		4		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している
		3		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している
		2		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00008 熊谷さくらマラソン大会事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する		
施策	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する		
施策達成課題	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する		
基本事務事業	006	熊谷さくらマラソン大会事業		
詳細事務事業	001	熊谷さくらマラソン大会事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	第33回熊谷さくらマラソン大会を令和5年3月19日に新型コロナウイルス感染症予防対策を実施した上で大会を開催し、全国各地から4493名の参加（申込）があった。

【事業分析】

対象	市民及び全国各地からの市民ランナー
目的	市民及び全国各地からの市民ランナーの参加するマラソン大会を実施し、本市をPRするとともに、健康の増進、体力の向上を図る。
手段	市スポーツ協会をはじめ関係機関・団体等の協力による実行委員会を組織して補助金を交付し、多くの市民ランナーが参加できるよう実行委員会が企画・運営を行う。
その他	

【コスト】

	(単位：千円)						
	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	令和6年度 計画額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額
トータルコスト	3,909	13,663	5,000	8,600	0	0	0
事業費	0	5,000	5,000	8,600	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	5,000	5,000	8,600	0	0	0
人件費計	3,909	8,663	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-07-01-00-00	熊谷さくらマラソン大会事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00008 熊谷さくらマラソン大会事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実施回数	回	1.00 0.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	
参加申込数	人	4,400.00 0.00	7,000.00 4,493.00	7,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】

1	事中評価	事業の優先度	評価の観点		基準	ランク
			5	4		
			5	4	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	5
	理由					
	事中評価	事業の必要性	5	4	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	3
	理由					
	事中評価	事業主体の妥当性	5	4	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
	理由					
	事中評価	事業の対象者	5	4	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
	理由					
	事中評価	市民ニーズの把握	5	4	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)	令和元年度(30th)から令和3年度(32th)まで、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会を中止してきたが、33回大会は開催することができた。しかしながら、コロナ対策費用として会場入口でのサーモグラフィ検温、3密や人流確保のための会場レイアウトに必要な部材等に加え、経費高騰や役員不足による交通整理員の追加確保のため費用がかさみ、基金を取り崩した。 34回大会は、受益者負担により、一般ランナーの参加料を4,500円から5,000円に上げることとしたが、経費高騰に対して対応できるかは不透明である。 以上のことから、令和6年度は増額としている。	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00009 高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	007 高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業
詳細事務事業	001 高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	全国から48校を選出し、目標参加者数1,000人を維持している。目的とする女子サッカーの技術やレベルの向上に繋がっており、引き続き全国に本市のPRを行い、スポーツによる地域の活性化に努める。

【事業分析】	
対象	大会参加チーム及び市民
目的	全国から高校女子サッカーの優秀なチームを本市に招待し、大会を通じて女子サッカーの技術やレベルの向上を図るとともに、大会を盛り上げる企画などで全国に本市のPRを行い、スポーツによる地域の活性化を図る。
手段	選抜高校女子サッカー大会「めめまカップ」in熊谷を開催するため、実行委員会に対し補助金を交付し、実行委員会が企画・運営を行う。
その他	

【コスト】							
	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,071	12,125	4,000	4,000	0	0	0
事業費	2,512	4,000	4,000	4,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,512	4,000	4,000	4,000	0	0	0
人件費計	8,559	8,125	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-08-01-00-00	高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00009 高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
参加校	校	48.00 31.00	48.00 47.00	48.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
参加者数	人	1,008.00 820.00	1,500.00 1,413.00	1,500.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4	
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2	
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4	
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3	
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3	
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由					

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01782 「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	010	「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業
詳細事務事業	001	「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	スクラム！クマガヤの取組をさらに広げ、市民にラグビータウンの浸透を図っていく。本市を本拠地として活動する埼玉パナソニックフットボールクラブやアルカス熊谷の知名度も活用し、ラグビー関係者だけでなく、市民やラグビーファンにも目を向け、多くの人に親しみを持ってもらえるような取組を加速する。

【事業分析】

対象	市民
目的	官民一体となってラグビータウン熊谷を推進していくとともに、ラグビータウンとして市民が自主的に展開するまちを目指す。
手段	①スクラム！クマガヤを使用した民間活動の拡大 ②ホームページでのスクラム！クマガヤに関連した情報の発信 ③市内ラグビーチームの支援 ④熊谷ラグビー場での試合時におけるイベントの実施と支援
その他	

【コスト】

	(単位：千円)						
	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額
トータルコスト	18,486	18,135	7,733	12,640	0	0	0
事業費	5,655	4,401	7,733	12,640	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0
一般財源	5,654	4,400	7,733	12,640	0	0	0
人件費計	12,831	13,734	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.70	1.81	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-33-01-00-00	「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業	総合政策部ラグビータウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01782 「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
スクラムTwitter フォロー数	人	1,900.00 2,270.00	2,500.00 2,730.00	3,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スクラム利用申請・届 出数	件	100.00 107.00	100.00 115.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スクラムLINEスタ 利用者数	人	350.00 448.00	500.00 469.00	650.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

1	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
			5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01862 ワイルドナイツ連携事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画					
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち					
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する					
施策	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する					
施策達成課題	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する					
基本事務事業	011	ワイルドナイツ連携事業					
詳細事務事業	001	ワイルドナイツ連携事業					

事業期間	～					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業	
企画課使用欄		事業の分類				

根拠法令等	
課題・分析	令和3年8月、埼玉バナソニックワイルドナイツが熊谷へ本拠地を移転した。将来、少なくとも35年は熊谷を拠点として活動をしていくこととなる。チームとの関係性を構築し、チームと連携しながらラグビータウン熊谷の持続可能性の確保を図る必要がある。ラグビーが生活に溶け込んだ活気のある魅力的なまちづくりを推進するため、チームや埼玉県ラグビー協会と連携し、各種事業を展開する。 平成31年3月27日 埼玉県、熊谷市及びバナソニック株式会社とのラグビーフットボールを通じた地域振興等に関する協定を締結。令和2年7月14日 埼玉県ラグビー協会によるクラブハウス等建設計画の発表。同時に完成後の本拠地移転についてチームから表明。令和3年8月 本市に本拠地を移転。

【事業分析】

対象	
目的	チームの存在がより幅広く市民に浸透していくことで、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となることを期待する。チームを通じラグビータウン熊谷を全国へ発信するとともに、市民のラグビーに対する関心の向上、熊谷市への愛着形成及びファン層の拡大を図る。
手段	チームのホームタウン活動の共有や情報交換、各種調査などを行い、同活動を支援する。
その他	

【コスト】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		10,368	83,557	19,759	15,769	0	0	0
事業費		7,500	76,804	19,759	15,769	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		7,500	76,804	19,759	15,769	0	0	0
人件費計		2,868	6,753	0	0	0	0	0
一般職員(人)		0.38	0.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-35-01-00-00	ワイルドナイツ連携事業	総合政策部ラグビータウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01862 ワイルドナイツ連携事業

【定量評価】

			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
指標名	単位								
応援バスツアー参加者	人/回		0.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
			0.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	事中評価	事業の優先度	4	
	理由	ワイルドナイツのと良好な関係維持のため継続実施の必要あり		
2	事中評価	事業の必要性		1
	理由	ファン拡大及び交流機会拡大により市民満足度向上に寄与		
3	事中評価	事業主体の妥当性		
	理由	ホストタウンとして主体的に実施する必要あり		
4	事中評価	事業の対象者	2	
	理由	市民ニーズの把握		
5	事中評価	市民ニーズの把握		4
	理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)	令和5年との比較では、2市1町花火大会等は見込まない分減額となっているが、ファン交流事業等は同規模で行っていくため、現状維持とした。	

【2次評価結果】

事業の方向性	事業縮小	予算の方向性
2次コメント(400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01832 荒川公園周辺再整備事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する		
施策	002	スポーツ環境の充実を図る		
施策達成課題	001	スポーツ環境の充実を図る		
基本事務事業	005	荒川公園周辺再整備事業		
詳細事務事業	001	荒川公園周辺再整備事業		

事業期間	令和3年度～令和12年度	10年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	熊谷市個別施設計画				
課題・分析	【課題】 ①新耐震基準（S56年）に不適合。②「第一種住居地域」であることから、建て替え（更新）の場合、現在と同等の延べ床面積を維持できない。③アリーナ照明が「水銀灯」であるが、故障時に「水銀に関する水俣条約」により調達が困難であり、LED化が求められている。④日本一暑い都市において、空調設備が未整備である。⑤総合振興計画に掲げる「スポーツによるまちづくり」を推進するうえで、時代のニーズに対応していない。				
	【分析】 既に「荒川公園周辺再整備検討会」を設置し、時代のニーズや将来を見据えて検討を進めており、本市の更なる発展と次世代に繋げるための再整備を計画的に進めることが求められている。				

【事業分析】

対象	現市民体育館敷地及び荒川公園エリア				
目的	次世代を見据えた求められる機能、施設計画の条件等を整理し、施設の基本的な計画内容をまとめるとともに、民活手法による事業の実施可能性について評価を行う。				
手段					
その他					

【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,658	30,872	38,000	55,439	0	0	0
事業費	13,090	19,469	38,000	55,439	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,090	19,469	38,000	55,439	0	0	0
人件費計	7,568	11,403	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01832 荒川公園周辺再整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	R6年度、要求水準書等の策定を行うとともに、必要な調査を実施する。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01723 スポーツコミッション事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	002	スポーツツーリズムを推進する			
施策	001	熊谷スポーツコミッションを推進する			
施策達成課題	001	熊谷スポーツコミッションを推進する			
基本事務事業	008	スポーツコミッション事業			
詳細事務事業	001	スポーツコミッション事業			

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	大規模大会の運営を主管する県のスポーツ団体に対し積極的に誘致活動を行い、全国規模の大会を3大会、関東規模の大会を8大会、計11大会を誘致して支援することで、交流人口の拡大を図ることができた。大会参加者、関係者に対してアンケート調査を実施し、市内や周辺観光の予定があるか確認したところ、全体の約90%の人が観光の予定がないと回答しており、来訪者を観光にどう繋げるかが課題となっている。

【事業分析】

対象	関東大会以上のスポーツ大会を主催する団体及び来訪者
目的	大規模スポーツ大会の誘致等に取組み、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るとともに、観光事業とも密接に連携し地域経済の活性化を目指す。
手段	市、熊谷商工会議所、（社）熊谷市観光協会、（公財）熊谷市スポーツ協会及び事業に密接に関連する事業者との連携
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	25,665	27,371	6,992	8,166	0	0	0
事業費	3,001	4,586	6,992	8,166	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,001	4,586	6,992	8,166	0	0	0
人件費計	22,664	22,785	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 01723 スポーツコミッション事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
関東大会以上の大規模大会	件	2.00	8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		6.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4	4
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
				どちらかといえば、実施したほうがよい		
				目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
				事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4	3
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
				市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4	3
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4	3
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
				直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4	3
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
				事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	熊谷スポーツコミッションを周知するため、啓発用グッズを作成し、関係団体を訪問して、大規模スポーツ大会の誘致を図ったほか、誘致した大会を観光協会等と連携して支援した。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00005 スカイスポーツフェスタ事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	002	スポーツツーリズムを推進する			
施策	002	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する			
施策達成課題	001	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する			
基本事務事業	001	スカイスポーツフェスタ事業			
詳細事務事業	001	スカイスポーツフェスタ事業			

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 熊谷市観光協会補助金交付要綱

課題・分析	
-------	--

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	昭和38年に開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場を舞台に、埼玉スカイスポーツフェスタを開催し、グライダー、気球などの体験搭乗会等を実施し、空のスポーツとしてのグライダーの魅力をアピールする。
手段	(一社) 熊谷市観光協会に補助金を交付し、イベント開催を支援する。 メディアに対する積極的な情報発信を行う。
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	267	308	1,540	1,540	0	0	0
事業費	172	212	1,540	1,540	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	172	212	1,540	1,540	0	0	0
人件費計	95	96	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-40-01-00-00	スカイスポーツフェスタ事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00005 スカイスポーツフェスタ事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
開催回数	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
参加者数	人	6,000.00	6,000.00	6,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク		
1	事中評価	事業の優先度	5	4	
			4		他の事務事業に優先して実施する必要がある
			3		今後しばらくの間、継続して実施する必要がある
			2		どちらかといえば、実施したほうがよい
			1		目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	1	
			4		市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである
			3		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである
			2		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである
			1		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	4	
			4		他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし
			3		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ
			2		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している
			1		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	5	
			4		直接の対象は、すべての市民又は団体である
			3		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体
			2		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である
			1		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	3	
			4		事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している
			3		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している
			2		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している
			1		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない
理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01577 グライダー推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	002	スポーツツーリズムを推進する		
施策	002	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する		
施策達成課題	001	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する		
基本事務事業	003	グライダー推進事業		
詳細事務事業	001	グライダー推進事業		

事業期間	平成29年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	市有グライダーによる市民対象の体験搭乗会を2回開催。グライダーの魅力をアピールするとともに、市有グライダーの維持管理を行う。

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	昭和38年開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場で、市有グライダーによる市民対象の体験搭乗会を開催し、グライダーの魅力をアピールするとともに、市有グライダーの維持管理を行う。
手段	「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めめまグライダークラブ」等との連携を図る。
その他	「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めめまグライダークラブ」の支援を行うとともに、市有グライダーの維持管理を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,133	2,350	1,531	1,808	0	0	0
事業費	1,228	1,440	1,531	1,808	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	199	237	0	0	0	0	0
一般財源	1,029	1,203	1,531	1,808	0	0	0
人件費計	905	910	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.12	0.12	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-46-01-00-00	グライダー推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01577 グライダー推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
グライダー搭乗会	回	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
グライダー搭乗者	人	30.00	30.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曳航費増による増額。 ・ グライダーシートベルト改修による増額 ・ 除草回数増加による増額 	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00007 ラグビータウン熊谷推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	002	スポーツツーリズムを推進する		
施策	002	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する		
施策達成課題	001	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する		
基本事務事業	002	ラグビータウン熊谷推進事業		
詳細事務事業	001	ラグビータウン熊谷推進事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	観客動員や公式戦ポスター原画作品応募者数は、一定の水準を保っており、事業の浸透が図られている。集客力のある事業に重点を置き、事業内容を精査し、経費削減に努める。

【事業分析】

対象	市民
目的	熊谷ラグビー場を活用し本市の振興と活性化を図るとともに、ラグビータウン熊谷を全国に発信する。
手段	大会、イベントを契機に。 ①全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会への支援と規模拡大の働きかけ ②集客力のある公式戦、定期戦の誘致 ③7人制ラグビーの普及と大会の開催 ④ホームページでの熊谷ラグビー情報の発信
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	31,350	31,484	9,487	9,738	0	0	0
事業費	8,103	8,645	9,487	9,738	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,103	8,645	9,487	9,738	0	0	0
人件費計	23,247	22,839	0	0	0	0	0
一般職員(人)	3.08	3.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-05-01-00-00	ラグビータウン熊谷推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課
01-02-01-18-05-01-00-00	ラグビータウン熊谷推進事業	総合政策部ラグビータウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
 短縮番号 00007 ラグビータウン熊谷推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
全国高等学校選抜ラグビー大会の観客数	人	18,850.00 0.00	18,850.00 10,420.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スポレク・タグラグビー大会の参加チーム数	チーム	50.00 82.00	50.00 72.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
公式戦ポスターの応募者数	人	740.00 1,002.00	550.00 472.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
		5	4	
1	事中評価 事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ		
2	事中評価 事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ		
3	事中評価 事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由	まちづくりの中核をなすため、市で行う必要あり		
4	事中評価 事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ		
5	事中評価 市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ		

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1010000 総合政策部企画課
 短縮番号 01555 ふるさと熊谷応援寄附金推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	003	観光を推進する		
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
基本事務事業	018	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業		
詳細事務事業	001	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業		

事業期間	平成28年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等 地方税法第37条の2、第314条の7、所得税法第78条
 寄附件数・金額はH29年度から増加した。多くの自治体が本制度を利用する中、寄附を受け入れるには、引き続き返礼品の開発に加え、広報力、共感を得られる寄附の使途の設定などが必要となっている。

課題・分析

【事業分析】

対象	1回1万円以上の寄附を行った、市外在住の個人
目的	ふるさと納税を通じて、地域振興と本市の魅力を全国にPRする。また、寄附による新たな財源確保を図る。
手段	①ふるさとチョイス ②返礼品の開発、選定、生産者との調整、広報及び発送委託（まちづくり熊谷に委託）
その他	寄附件数・金額 【H28】1,202件：2,934万7,088円、【H29】731件：1,726万1千円 【H30】760件：2,549万3千円、【R1】859件：23,500,337円、【R2】912件：43,307,340円 【R3】1,352件 4,222万4,314円 【R4】1,304件 5,314万円

【コスト】

	(単位：千円)						
	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	令和6年度 計画額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額
トータルコスト	17,967	20,452	22,320	23,950	0	0	0
事業費	15,854	18,783	22,320	23,950	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,854	18,783	22,320	23,950	0	0	0
人件費計	2,113	1,669	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.28	0.22	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-64-01-00-00	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1010000 総合政策部企画課
 短縮番号 01555 ふるさと熊谷応援寄附金推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
寄附金額	千円	22,000.00 42,225.00	28,000.00 53,140.00	41,500.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	令和5年度にふるさと納税のポータルサイトに広告を掲載し、寄附額の増加を図る。これに伴い、寄附件数が増加することで発送等に要する経費も増額を見込む。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00014 観光振興事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	003	観光を推進する			
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
基本事務事業	022	観光振興事業			
詳細事務事業	001	観光振興事業			

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		

根拠法令等

加している協議会等との連携を図る必要がある。

課題・分析

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	観光振興業務の円滑な推進を図り、熊谷への誘客を目指す。
手段	埼玉県物産観光協会等の主催する観光キャンペーンへの参加
その他	

【コスト】

	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度		令和 9年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,541	4,648	3,766	4,376	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費	3,233	3,434	3,766	4,376	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,233	3,434	3,766	4,376	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	1,308	1,214	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.16	0.16	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-02-01-00-00	観光振興事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00014 観光振興事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
熊谷市観光入込客数	人	4,398,000.00	4,398,000.00	4,548,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,579,876.00	1,829,472.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
WiFiアクセス数	件	168,000.00	168,000.00	168,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		145,044.00	114,223.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
WiFi利用者数	人	100,000.00	100,000.00	100,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		60,764.00	49,170.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由						
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由						
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由						

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1次コメント (400文字)	<ul style="list-style-type: none"> ・会費増額による、報償費増 ・のほり旗作成による、消耗品費増 ・回数及び面積増による、除草委託料増 	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00016 星川環境整備事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	003	観光を推進する			
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
基本事務事業	024	星川環境整備事業			
詳細事務事業	001	星川環境整備事業			

事業期間	平成21年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	中心市街地のシンボルである星川を、地域団体・商店街と行政が一体となって景観の維持を図っている。橋梁や路盤など経年劣化により改修が必要となっていることから、来街者を迎えるうえで、また星川を中心とした多くのイベント開催の会場として改修を計画（要請）していく。

【事業分析】

対象	星川及び星川通り
目的	熊谷市の中心街の中核的観光施設である星川シンボルロードの維持管理、環境整備を行う
手段	地域団体への働きかけ等を通じて、星川の適切な維持管理を図る
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,190	2,365	648	1,637	0	0	0
事業費	492	468	648	1,637	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	492	468	648	1,637	0	0	0
人件費計	3,698	1,897	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.49	0.25	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-51-01-00-00	星川環境整備事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00016 星川環境整備事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
作業日数	日	90.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	
		90.00	76.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	事業の優先度	評価の観点		基準	ランク
			5	4		
			5	4	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
			5	4	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
			5	4	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
			5	4	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	4
			5	4	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	今後も地域と一体となった適切な維持管理を図る。 星川沿いの彫刻の補修。前回はR2実施、3年に1度が望ましい。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01566 観光協会運営支援事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	003	観光を推進する		
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
基本事務事業	038	観光協会運営支援事業		
詳細事務事業	001	観光協会運営支援事業		

事業期間	平成29年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等 熊谷市観光協会補助金交付要綱

課題・分析	
-------	--

【事業分析】

対象	一般社団法人熊谷市観光協会
目的	本市観光事業の中心組織となる新観光協会の運営を支援し、観光客の誘致及び交流人口の増大を図る。
手段	一般社団法人熊谷市観光協会へ補助金の支出
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	35,513	40,852	35,310	36,061	0	0	0
事業費	27,945	33,264	35,310	36,061	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	27,945	33,264	35,310	36,061	0	0	0
人件費計	7,568	7,588	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.00	1.00	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-44-01-00-00	観光協会運営支援事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01566 観光協会運営支援事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
観光入込客数	人	4,398,000.00	4,398,000.00	4,548,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1,579,876.00	1,829,472.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	事業の優先度	評価の観点		基準	ランク
			5	4		
			5	4	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	5
			5	4	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
			5	4	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
			5	4	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	3
			5	4	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
1次コメント(400文字)	・非常勤職員と常勤職員の格差是正のための賞与支給による増額 ・複合機のリース代による増額		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01589 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画					
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち					
政策達成課題	003	観光を推進する					
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる					
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる					
基本事務事業	039	「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業					
詳細事務事業	001	「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業					

事業期間	平成29年度～					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業	
企画課使用欄		事業の分類				

根拠法令等 熊谷市観光協会補助金交付要綱

課題・分析

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	本市の観光振興を図るため
手段	(一社)熊谷市観光協会が支援する各種伝統行事等に対する運営の補助を行う。
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	42,511	54,283	65,700	66,232	0	0	0
事業費	21,653	33,416	65,700	66,232	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,640	0	0	0	0	0	0
一般財源	20,013	33,416	65,700	66,232	0	0	0
人件費計	20,858	20,867	0	0	0	0	0
一般職員(人)	2.75	2.75	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-49-01-00-00	「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01589 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
観光入込客数	人	4,398,000.00	4,398,000.00	4,548,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1,579,876.00	1,829,472.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	1	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
1次コメント(400文字)	・小さないい旅における警備員増員に伴う増額		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00396 妻沼市街地活性化事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	003	観光を推進する		
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
基本事業	048	妻沼市街地活性化事業		
詳細事業	001	妻沼市街地活性化事業		

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	市営めめま観光駐車場トイレ（坂田医院旧診療所・井田記念館）、聖天山トイレ（境内1カ所・駐車場1カ所）、花埋み観光トイレ（日本学生航空連盟妻沼訓練所敷地内）の維持管理や坂田医院旧診療所等の環境整備を熊谷市シルバー人材センターに業務を委託している。常に環境が整備された状況を維持するには職員が直営で行う場合がある。

【事業分析】

対象	市民団体、商店街及び観光客
目的	歓喜院聖天堂、坂田医院旧診療所、井田記念館等各施設の有効活用を図るとともに、商店街をはじめ地域の活性化につなげる。
手段	くまがや市商工会と協力し、市営めめま観光駐車場の有効利用を図る。 地元商店街の活性化や市民ボランティアの活躍等、観光客受け入れ体制の充実を図りながら聖天山周辺及び妻沼市街地におけるイベント等に対し、協力・協働する。
その他	

【コスト】

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	決算額	計画額	決算額	計画額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,636	5,820	6,029	6,626	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費	6,410	5,593	6,029	6,626	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	22	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,388	5,556	6,029	6,626	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	226	227	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-51-01-00-00	妻沼市街地活性化事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 00396 妻沼市街地活性化事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
観光入込客数	人	4,398,000.00 257,000.00	4,398,000.00 136,000.00	4,548,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5	5
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
				どちらかといえば、実施したほうがよい		
				目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5	4
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5	4
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5	5
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	5	4
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
理由						

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1次コメント (400文字)	・井田記念館雨漏りによる畳入替えに伴う増額 ・坂田医院旧診療所管理・剪定に伴う増額 ・除草範囲増による増額	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 02049 熊谷グルメイベント実施事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち		
政策達成課題	003	観光を推進する		
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる		
基本事務事業	057	熊谷グルメイベント実施事業		
詳細事務事業	001	熊谷グルメイベント実施事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等 熊谷市観光協会補助金交付要綱

課題・分析

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	本市のグルメのPRと商業振興
手段	イベントの開催支援及びホームページやチラシ作成・配布
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	321	5,731	5,000	5,000	0	0	0
事業費	0	5,200	5,000	5,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	5,200	5,000	5,000	0	0	0
人件費計	321	531	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.04	0.07	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 02049 熊谷グルメイベント実施事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
入場者数	人	50,000.00	2,000.00	2,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	2,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	1	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	3
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	事業縮小	予算の方向性
2次コメント (400文字)		